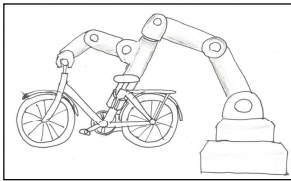


アイデア・パワー炸裂！沸騰する発想力

第1回ロボットアイデア甲子園 最優秀賞

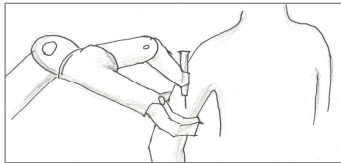
産業用ロボットの活用アイデアを競うコンテストで、電子科1年加藤勇典が最優秀賞を受賞しました。11月の神奈川大会(南関東地区)を勝ち抜き、12月21日(土)「2019国際ロボット展」内に設けられたステージで、全国決勝大会が行われました。



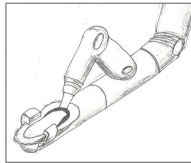
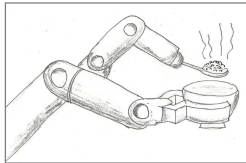
最優秀賞に輝いたアイデア
「自転車整理ロボット」

審査項目

- 創造性：独自の発想、将来の可能性を感じるか。
- 社会性：社会における必要性、課題解決に役立つか。
- 実現性：近い将来、実現の可能性があるか。
- 市場性：ビジネスとして成り立つものであるか。
- アピール性：笑い、感動など人の情動を揺さぶるものか。
- 表現性：発表としての質、努力等を総合的に判断。



最初のアイデアを元に、同じ機構のロボットで多様な応用例を次々と発案し発表。



本校SPHの3本柱の1つ「Challenge & Humanity」の取り組みでは、社会的な課題解決を考えながら人間性を育む事や、さらにそうした行動を使命感を持って取り組む起業家精神等を育みます。今回のロボットアイデア甲子園では、この「Challenge & Humanity」をベースに、更に技術的な知識や、論理的

思考といったSPHで育まれる全ての力、またSDGsへの取り組みや、「安全第一」、「6S」など、多面的な取り組みの成果を総動員させて、プレゼンテーションに臨みました。本校の指導指針の中にある「全国トップレベルの工業高校を目指す」ことをこれからも続けてまいります。



国内ロボット企業の社長、大学教授等
錚々たる審査員を前に堂々と発表



全国の約300名の参加者の中から選ばれた
ファイナリスト達

SPH川柳

ヒトの為
ロボット活かす
アイデアに
甲府工業
ここにあり

高校生ビジネスプラン・グランプリ 2年連続「学校賞」受賞！



1学年全員で取り組んだ「第7回高校生ビジネスプラン・グランプリ」において、昨年度に引き続き、今年度も「学校賞」を受賞しました。1月15日(水)主催となる日本政策金融公庫 甲府支店長・江口朋之様のご来校くださり、校長室にて表彰式が行われました。今回の学校賞は全国409校の中から23校が選ばれました。応募総数3808件の中、本校からは263件の応募が成立し、1校あたりとしては最多数となりました。事業により社会の課題を解決しようとするアイデア出しの経験は、将来において必ず社会の役に立つものと確信します。

遂に特許出願対象者誕生！ パテントコンテスト



今年度は2学年全体で取り組み、本校から196件の応募が行われました。そのうち6作品が2次審査を通過し、最終審査へと駒を進めました。最終審査に進んだ作品数は58件との事でしたので、1割強の作品が本校の作品であったこととなります。この数字は快挙です。さらに、その中の1作品「多機能ハサミ」(機械科2年1組 今澤 優)が、優秀賞に選ばれ主催者の手厚いサポートのもと、特許出願・取得の対象となりました。SPHの取り組みが着実に実を結びつつあることが感じられます。